



南部町立南部中学校 学校だより R7 第21号

城山の風

令和8年3月12日(木)

校長 樋口 信也

第15回卒業証書授与式 -43名の巣立ち-



3月11日(水)、さわやかな青空の下、佐野和広町長、市川隆教育長、町議会正副議長、教育委員の皆さまのご臨席を賜り、多くの保護者の方々が見守る中、第15回卒業証書授与式を行いました。

8時53分、コサージュとリボンをつけた卒業生が緊張の面持ちで入場し、式が始まりました。背筋を伸ばして座る姿、担任の呼名に「はい」と力強く答える返事、卒業証書を受け取る凜とした表情、どれもが卒業生にふさわしい態度・所作でした。

在校生代表青山美月さんの送辞では、卒業生に対する感謝・敬意や南中文化を受け継ぎ、先輩を越えたいという決意が語られ、在校生で合唱『越えてゆけ』を歌いました。

呼びかけと合唱を組み合わせた答辞は、3年間の集大成となる素晴らしい発表でした。呼びかけでは、3年間の思い出とこれからの決意などを語り、合唱は『忘れない』と『群青』の2曲を歌いました。卒業生代表佐野かのこさんの答辞では、学年のターニングポイントとなった輝城祭のこと、お世話になった人たちや仲間への感謝が語られ、最後に、自分を信じ、夢と希望に満ちた未来を自身の手でつかみ取ることを誓っていました。また、15年前の3月11日に起きた東日本大震災についても触れていました。卒業式という日でありながら自分たちのことだけでなく、他人に思いを馳せることのできる卒業生を誇りに思います。

最後は、全校で校歌を歌いました。感動的で素晴らしい卒業式でした。南部中を巣立った43名の卒業生が幸せな人生を送ることを祈ります。



卒業に向けて

卒業に向けた準備を3年生、1・2年生それぞれ行いました。

3年生は、4日（水）・5日（木）に愛校作業を行いました。玄関や特別教室の窓ガラス、校舎から体育館への通路などを掃除しました。普段はできない細かいところまできれいにしていました。3年間過ごした南部中への感謝の気持ちを込めた活動で、そのお陰で私たちはより快適な学校生活を送ることができています。

1・2年生は、9日（月）に卒業式の会場作りをしました。椅子をきれいに並べたり、花の色を考えながらプランターを並べたり、旗や看板を取り付けたり、掃除をしたり…することがたくさんありました。一人一人が主体的に、そしてみんなで協力して作業しました。言うまでもなく勉強や部活動に一生懸命取り組むことは素晴らしいことですが、こういうときに一生懸命働くことができることも同じくらい素晴らしいことです。

同じ9日、3年生が「先生方に感謝を伝える会」を開いてくれました。会の中で、3年生から一人一人の教職員に感謝の手紙をいただきました。自分は当たり前だと思っていたことへの感謝の気持ちが綴ってあり、そんなふうに思ってくれたのだと、とてもうれしい気持ちになりました。教師をしていると、何度か「教師をしていて良かった。」と思うときがありますが、そういうときでした。

